

所在地：富山県富山市

面積：約35ha（うち有機：約28ha）

構成員：15人

栽培品目：水稻、大豆、麦類、野菜、養鶏 他

取組の紹介

【環境負荷低減に資する取組の推進】

- 里山で耕作放棄地が増えている中、里山の営みを残したいとの思いから、1995年に「有限会社 土遊野」を設立。
- 約28haで水稻、大豆、麦類、野菜等の有機栽培に取り組んでおり、うち19haで有機JAS認証を取得。
- 自社の鶏糞や地元企業の食品残渣である酒かす・おから、地元で発生する野菜残渣等で堆肥を生産し使用するとともに、地域農家にも提供。また、自社養鶏飼料は、減農薬で生産した飼料用米や地元の野菜残渣等を使用し、有畜複合循環型農業を実践。
- 除草、害虫駆除にアイガモを活用するほか、水田除草機やアイガモロボ等の省力機械による効率的な水稻栽培に取り組む。



アイガモの活用/アイガモロボでの除草



とやま有機アカデミーでの指導活動



有機農業の普及活動（消費者との交流）

【安定出荷・販路拡大に向けた取組】

- 有機米はネット販売を中心にJA直売所にも出荷。
- 首都圏等ターゲットを明確にし、有機農業の取組内容や取組理由、有機農産物の美味しさとその魅力を情報発信することにより販路を開拓。
- 有機米を原料とした米粉、パンケーキミックス、焼き菓子等を自社で製造・販売するほか、酒造会社やみりん醸造会社と有機加工品（有機酒・みりん）の製造・販売を実施。棚田中心の中山間地での循環型有機農業で、年間売上約8千万円を達成。

【人材育成の取組】

- 代表の河上氏は、富山県内で有機農業のアドバイザーを務めるほか、「とやま有機農業アカデミー」や「丹波市農の学校」等の有機農業の学校で講師を担当し、有機農業の普及に取り組む。
- 消費者の農業体験会やファームステイを実施するほか、地元保育園の遠足や修学旅行生の農業体験の受け入れを実施するほか、地元NPO法人と連携し、田植え体験、そば打ち体験、里山野外教育体験等にも取り組む。

HP・SNS等

HP：<https://doyuuno.net/>